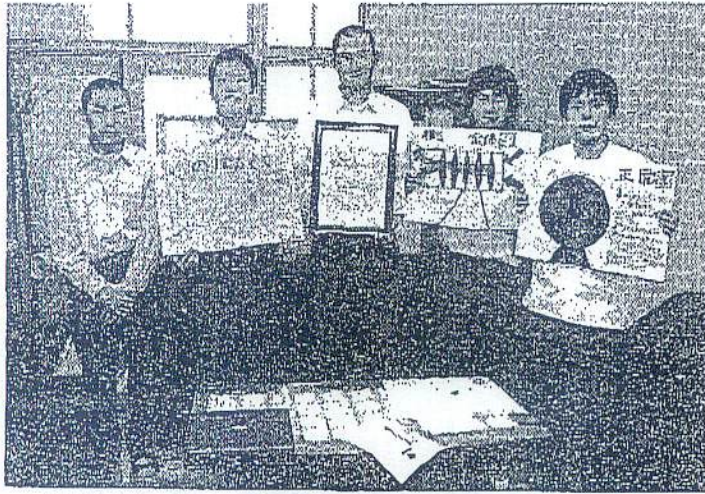


# チーム・ジャパンとしてシドニーへ

## 府立田辺高校の5人



### グローバルエンタープライズチャレンジ 国内予選で優勝

### 「自分たちの力を出し切る」と意欲

高校生が、起業家精神を養いながら社会的課題を解決するアイデアを競う「グローバル・エンタープライズ・チャレンジ2008」の国内予選で、府立田辺高校工業技術科の2年生5人のチームが優勝。22日、23日にオーストラリアで開かれる本戦の国際大会に、日本代表として出場することになった。5人は「結果がどうであれ、自分たちの力を出し切る」と意気込みを見せる。

18歳以下の青少年対象に科学技術への理解や起業家精神育成を図ろうと開かれる大会。

その場で提示される次世代の科学技術や社会的課題について、参加チームが24時間以内に解決案を事業計画書としてまとめ、英語で発表するという内容。解決案の創造性や革新性、実現性、市場性などが総合的に審査されるという。

出場することになったのは、同校2年生の林貴弘さん(17)、前畑博行さん(16)、山下音生さん(17)、吉

井将真さん(16)、中野正康さん(17)の5人。

先月31日に京都市で開かれた国内予選では、「持続可能な社会づくりのためにエネルギー問題を解決する製品企画」という課題に対し、5時間の制限時間で、海流を利用した水中での発電システム製品「のぼる君」のビジネスプランを提案。大会初出場ながら、工業高校ならではの技術面を前面に打ち出したアイデアで、ほかの出場6チームをおさえて優勝を勝ち取った。

22日からシドニーで開かれる本戦では、最終発表は英語で行わねばならないため、現在英語力についても猛特訓中だという。

チームリーダーの山下さんは「今回は様子を見て、来年、勝負をかけようと思っただけでしたが、国内で優勝して正直びっくり、僕らが勝って失礼かな

って気持ちもあります」と謙遜しながらも、「こういう経験ができるのは非常に限られているので、日本の代表

として、予選で当たった人たちの分までがんばります」と話している。【加藤雅紀】

【写真は日本代表としてシドニーでの本戦に挑む田辺高校チーム(左から林さん、中野さん、山下さん、前畑さん、吉井さん)】